

報 雜

◎人 事

臺北帝國大學教授 横 川 定

本俸四級俸下賜

醫學部勤務ヲ命ス

寄生蟲學講座擔任ヲ命ス

講座職務俸九百九拾圓下賜

(二月六日)

叙正七位 從七位 小 池 藤 太 郎

(二月十五日)

陸軍軍醫中佐從五位勳三等 石 井 義 章
任陸軍軍醫大佐

陸軍軍醫大尉從六位勳五等 小 橋 富 兄
任陸軍軍醫少佐

岡山醫科大學助教授 濱 崎 幸 雄
陸軍高等官三等

(三月一日)

仙臺陸軍病院附 西 村 慶 次
陸軍軍醫少佐

陸軍兵器本廠附兼陸軍省醫務局附被仰付
步兵第三十九聯隊 小 竹 豊
附陸軍軍醫少佐

補步兵第三十九聯隊附
陸軍軍醫少佐 小 橋 富 兄

補步兵第三聯隊附
陸軍軍醫少佐 大 橋 要 人

補步兵第二十六聯隊附
騎兵第十聯隊附 安 田 常 男
陸軍軍醫大尉

補東京第一陸軍病院附
陸軍砲工學校附兼陸軍
省醫務局課員陸軍經理
學校附陸軍軍醫大尉 古 田 壽 次

免兼陸軍經理學校附
步兵第七十五聯隊 山 本 晴 造
附陸軍軍醫大尉

補騎兵第五聯隊附兼廣島陸軍兵器支廠廠員

(三月一日)

(各通)

正五位 庄 司 義 治

正五位 田 部 浩

叙勳四等授瑞寶章

(三月五日)

岡山醫科大學教授 稻 田 進

賜本俸一級俸

職務俸金千參百圓下賜

岡山醫科大學助教授 關 正 次

本俸三級俸下賜

(三月十日)

○横川 定君 臺北帝國大學教授横川定君は今般
ルーマニア、アカデミー、ド、メヂシンの名譽
會員に推薦せられたり其推薦文は次の如し

貴下はアカデミー、ド、メヂシンの一千九百三
十六年十二月十六日の會議に於て全會一致を以
てルーマニア、アカデミー、ド、メヂシンの生
物學理學及自然科學の名譽會員に推薦致され候
會は深甚なる祝福と敬服の意を表し候

書記長 ダニエロボロ

横川 定殿

○戸田 茂君 滿洲醫科大學教授戸田茂君は同大
學より歐米各國に出張を命ぜられ昨年夏出發各地
を巡歴し先般無事歸朝せられたり

○花室憲章君 は豫て傳染病研究所に於て研究中
なりしが今般川崎市天島鋼管會社病院長に就任せ
られたり

○吉村久雄君 は豫て神戸市攝津病院に勤務し居
られしが今般其職を辭し岡山醫科大學津田外科に
於て研究に従事せられたり

○龜井俊夫君 豫て岡山醫科大學生理學教室及び
小兒科教室に於て研究中の同君は今般吳市鍋波止
堀海軍共濟組合病院に勤務せられたり

○馬淵 碩君 は豫て岡山醫科大學小兒科教室に勤務し居られしが今般同教室を辭し大阪市港區市岡元町谷内小兒科病院に勤務せられたり

○藏本常雄君 豫て滿鐵大連醫院産婦人科に勤務し居られし同君は今般其職を辭し大連市近江町に於て開業せられたり

栗栖幸穂君 君は大正3年岡山醫學專門學校を卒業し海軍に出仕し累進して軍醫中佐となり先年豫備役となり横濱市磯子區三浦町に於て開業し居られしが先般病を以て遠逝せられたりと寔に痛惜に堪へず謹みて茲に用意を表す

◎卒業證書授與

岡山醫科大學に於ては本年の卒業生次の79名に對し本月15日同大學に於て卒業證書を授與したり (イロハ順)

井上 薫(兵庫) 生田 憲章(徳島)
板倉 順(千葉) 早石 裕(京都)
林 富士郎(岡山) 西崎 勝(兵庫)
兒子 廉夫(岡山) 別府 寧(岡山)
徳久 克巳(高知) 富山 典信(岡山)
土居 清(廣島) 陳 双祿(臺灣)
近光 正(岡山) 小笠原 武(島根)
小野 雄啓(岡山) 大重 彌吉(岡山)
岡田 要(福岡) 奥島 芳久(愛媛)
渡邊 涉(鳥取) 數田 勇(廣島)
神山 幸俊(愛媛) 河田 正雄(岡山)
加藤 正信(福井) 横田 俊彦(兵庫)
高山 義武(岡山) 高原 劍二郎(兵庫)
瀧口 一雄(廣島) 瀧 讓(鳥取)
田村 一鷹(兵庫) 武市 重雄(岡山)
谷 豊(岡山) 宅間 恒治(愛知)

津田 睦男(和歌山) 露木 貞文(神奈川)
辻田 源伍(岡山) 中村 泰(大阪)
中村 肇(岡山) 中川 美雄(廣島)
中里 恒夫(山形) 長尾 茂(兵庫)
村上 正次(鳥取) 占部 宗近(廣島)
上田 知二(奈良) 野口 茂久(高知)
黒坪 正喜(福岡) 黒山 眞吾(東京)
山上 進(東京) 山谷 章一(岡山)
山田 正雄(兵庫) 山根 一雄(島根)
山川 斌(静岡) 安田 勇造(岡山)
安水 仁司(兵庫) 矢部 忠孝(岡山)
松田 芳郎(宮崎) 松井 健二(廣島)
松香 孝章(岡山) 松岡 健雄(山口)
松尾 節司(廣島) 間野 忠衛(岡山)
前田 武和(和歌山) 藤山 省吾(岡山)
藤田 半三郎(岡山) 藤本 達(廣島)
福岡 武一(兵庫) 小林 直猪(岡山)
遠藤 巖(島根) 寺島 四郎(岡山)
齋藤 勉(静岡) 眞田 實(廣島)
澤田 三郎(愛知) 吉良 良吉(高知)
橋高 圭三(岡山) 三宅 義夫(岡山)
森本 正浩(高知) 鈴木 純一郎(岡山)
鈴木 清(愛知) 須賀 木一(兵庫)
菅 清一(岡山)

◎入學許可

岡山醫科大學に於ける本年度入學志願者は86名にして募集定員80名を超過せるを以て本月18,19の兩日撰拔試験を執行し次の81名に對し入學を許可したり (五十音順)

秋山 常男(山梨) 安藤 典治(岐阜)
生長 勇(山口) 阿部 孝男(岡山)
池田 正三(鳥取) 池田 久男(岡山)
井上 威(兵庫) 岩原 定可(岡山)
今田 純正(岡山) 浮田 實三(岡山)
後 武(和歌山) 江口 武夫(岡山)

岡本 勇(岡山) 奥 浩(和歌山)
 小倉 忠郎(岡山) 小高 通孝(岡山)
 尾中 惇(山口) 太田 諭(京都)
 大林 省三(廣島) 大村 順一(滋賀)
 河合 茂(香川) 簡野 正一郎(愛媛)
 串 殖(和歌山) 國原 角三(廣島)
 久保 融(香川) 黒住 靜之(岡山)
 小寺 丈夫(岡山) 小林 良輔(廣島)
 近藤 俊雄(愛媛) 相良 憲二(廣島)
 佐々木 頼一(廣島) 佐藤 玄(島根)
 眞田 正(廣島) 佐野 俊平(岡山)
 繁治 巖(兵庫) 進藤 正光(愛媛)
 高木 豊(岡山) 尙 直輝(鹿兒島)
 伊達 定雄(大阪) 田中 秀美(徳島)
 辻村 定夫(兵庫) 土井 源治郎(岡山)
 富田 耕三(香川) 豊田 立郎(廣島)
 中井 正(兵庫) 永井 駿(廣島)
 永瀬 眞吾(岡山) 永田 正(熊本)
 長濱 舜二(徳島) 那波 力丸(岡山)
 西崎 道生(岡山) 西田 忠彦(三重)
 根木 佑一(岡山) 野崎 在文(岡山)
 羽田 政男(岡山) 林 章正(愛媛)
 原 健(長野) 播磨 良雄(兵庫)
 東 周平(岡山) 平井 達二(富山)
 廣渡 敬也(福岡) 福武 雅重(岡山)
 藤原 純夫(岡山) 古屋 成一(徳島)
 松本 正典(山口) 光藤 葆光(愛媛)
 水河 忠敬(岡山) 水原 舜爾(岡山)
 三並 弘文(徳島) 宮尾 正幹(岡山)
 三宅 俊一郎(鳥取) 三好 功(徳島)
 向井 克彦(大阪) 森 新太郎(廣島)
 森田 泰行(高知) 安井 七五三(兵庫)
 山田 寛一(兵庫) 山本 英夫(香川)
 山本 道雄(廣島) 吉田 則良(愛媛)
 吉原 英正(廣島)

◎學位授與

中村俊雄, 瀬戸忠治郎, 露野包夫, 清谷壽, 小田源太郎, 小西信雄の6君は豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが中村, 瀬戸, 露野の3君は本年1月18日の教授會を通過し, 清谷, 小田, 小西の3君は本年2月1日の教授會を通過し前者は本年2月24日, 後者は本年3月20日附を以て孰れも醫學博士の學位を授與せられたり其主論文及び参考論文は次の如し

中村俊雄君

主論文

骨折治癒諸期=於ケル内分泌諸臟器ノ態度(追テ本誌=發表ノ豫定)

参考論文

1. 骨折ノ甲状腺及ピ上皮小體=及ボス影響(追テ本誌=發表ノ豫定)
2. 重複性癌ノ1剂檢例(本誌第46年第4號=發表セリ)
3. 高度ナル汎發性澱粉様物質沈着症ノ1例(本誌第46年第6號=發表セリ)
4. 人體骨脂肪ノ濱崎「朮」耐酸性顆粒=就テ殊=神經性筋萎縮=於ケル組織的所見(小西信雄, 中村俊雄共著)(本誌第48年第4號=發表セリ)
5. 原發性肝臟癌ノ病理解剖學的竝=統計學的研究(本誌第48年第5號=發表セリ)
6. 副脾ヨリ發生シタル腸管腺筋腫=就テ(本誌第48年第6號=發表セリ)

瀬戸忠治郎君

主論文

蛙横紋筋含水量ノ其筋内短縮=及ボス影響(岡山醫科大學歐文業府第5卷第1號=發表セリ)

參考論文

1. 性別ニ於ケル蛙組織ノ炭酸瓦斯排泄ノ差異ニ就テ (岡山醫科大學歐文業府第5卷第1號ニ發表セリ)
2. 「アトロピン」ノ蛙迷走神經及血管收縮神經ニ及ボス作用ニ就テ (岡山醫科大學歐文業府第5卷第2號ニ發表セリ)
3. 蛙ノ反射的瞳孔散大ニ就テ (岡山醫科大學歐文業府第5卷第2號ニ發表セリ)
4. 「2.6-ヂクロールフェノールインドフェノール」ノ蛙筋瓦斯代謝及ピ乳酸生成ニ及ボス影響 (岡山醫科大學歐文業府第5卷第2號ニ發表セリ)
5. 「モノヨード」醋酸中毒筋ノ瓦斯代謝ニ就テ (本誌第48年第8號ニ發表セリ)
6. 特發性筋隆起ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
7. 所謂「電話法」ノ論ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

露野包夫君

主論文

生體內銅ノ研究

- 第1報 血液中銅ノ研究補遺 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
- 第2報 正常家兎血液ニ於ケル Fe/Cu Index 及失血時ニ於ケル Fe/Cu Index ノ推移ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
- 第3報 動物體內ニ於ケル銅ノ分布及非經口的注入膠樣銅ノ運命ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

參考論文

1. アダムスストーク氏症候例及ビ其ノ治療經驗 (本誌第44年第7號ニ發表セリ)

2. Zum Problem der Schlafzentren. (睡眠中樞ニ就テ) (大熊泰治, 露野包夫共著) (日本精神神經學業府第1卷第3號ニ發表セリ)

清谷壽君

主論文

胸腺ノ發生學的研究 (兩棲類)

1. 有尾兩棲類特ニ Hynobius aus Okayama ニ就テ (本誌第47年第9號ニ發表セリ)
2. 無尾兩棲類特ニ Rhacophorus schlegelii ニ就テ (本誌第48年第5號ニ發表セリ)
3. 有尾兩棲類特ニ Dremyctylus pyrrhogaster ニ就テ (本誌第48年第9號ニ發表セリ)

參考論文

1. 甲狀腺ノ發生學的研究, 有尾兩棲類特ニ Diemyctylus pyrrhogaster ニ就テ (本誌第46年第10號ニ發表セリ)
2. 甲狀腺ノ發生學的研究, 無尾兩棲類特ニ Rhacophorus schlegelii ニ就テ (本誌第47年第3號ニ發表セリ)
3. 甲狀腺並腮後小體ノ發生ニ就テ, 有尾兩棲類特ニ Hynobius aus Okayama ニ就テ (本誌第47年第10號ニ發表セリ)
4. 腺原基ノ發生學的研究 (鳥類特ニ燕ニ於ケル檢索) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

小田源太郎君

主論文

實驗的充實性肺虛脱ニ關スル研究

1. 透横隔膜胸腔内觀察法ニヨル虚脱肺ノ狀態ニ就テ (日本外科學會雜誌第37回第6號ニ發表セリ)

2. 充實性肺虚脱時血液瓦斯, 血液像, 血液凝固時間ニ就テ (日本外科學會雜誌第 37 回第 9 號ニ發表セリ)
3. 充實性肺虚脱ノ肝臟及ビ網狀織内被細胞系統ニ及ボス影響ニ就テ (日本外科學會雜誌第 38 回第 1 號ニ發表ノ豫定)
4. 充實性肺虚脱時肺臟糖中間代謝並ニ「イソヂカン」形成ニ及ボス影響 (日本外科學會雜誌第 38 回第 3 號ニ發表ノ豫定)
5. 充實性虚脱肺ノ組織學の所見 (日本外科學會雜誌第 38 回第 4 號ニ發表ノ豫定)

参考論文

1. 有癩性氣管枝竝ニ氣管狹窄ニ就テ (實驗的研究) (日本外科學會雜誌第 38 號第 4 號ニ發表ノ豫定)
2. 胃潰瘍切除術後ニ於ケル急性充實性肺虚脱ノ症例 (鶴身孝雄, 小田源太郎共著) (東京醫事新誌第 2966 號ニ發表セリ)
3. 胃及ビ十二指腸潰瘍ノ統計的觀察並ニ其手術成績ニ就テ (日本外科學會雜誌第 36 回第 5 號ニ發表セリ)
4. 開放性胃及ビ十二指腸潰瘍穿孔症例ニ就テ「グレンツグベート」第 9 年第 8 號ニ發表セリ)
5. 被覆性胃及ビ十二指腸潰瘍穿孔ニヨル膿瘍形成ニ就テ (日本外科學會雜誌第 36 回第 5 號ニ發表セリ)
6. 頸部孤立性巨大「ノイリノーム」ノ 1 例 (東京醫事新誌第 2920 號ニ發表セリ)
7. 兩側慢性副辜丸疾患ニヨル男性不妊症ノ外科的療法 (東京醫事新誌第 2915 號ニ發表セリ)

小西 信雄 君

主論文

濱崎氏「クローム」耐酸性顆粒ノ生物學的研究

1. 濱崎氏「クローム」耐酸性顆粒ニ及ボス饑餓ノ影響ニ就テ (第 1 報) (本誌第 49 年第 2 號ニ發表セリ)
2. 濱崎氏「クローム」耐酸性顆粒ニ及ボス饑餓ノ影響ニ就テ (第 2 報) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
3. 饑餓動物ノ濱崎氏「クローム」耐酸性顆粒ニ及ボス核酸ノ影響ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

参考論文

1. 人體骨格筋ノ濱崎「汞」耐酸性顆粒ニ就テ殊ニ神經性筋萎縮症ニ於ケル組織の所見 (小西信雄, 中村俊雄共著) (本誌第 48 年第 4 號ニ發表セリ)
2. 正常組織ニ於ケル光輝細胞ノ分布並ニ形態ニ就テ (濱崎幸雄, 小西雄信共著) (日新醫學第 25 年第 9 號ニ發表セリ)
3. 小腦橋角腫瘍ノ 3 剖檢例
殊ニ濱崎ノ組織分離法ニヨル神經髓鞘樣纖維ノ證明ニ就テ (濱崎幸雄, 小西信雄共著) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
4. 腦脊髓腔内ニ注射サレタル「カルミン」細胞ノ蝸牛殼導水管内網狀組織ニ對スル親和性ニ就テ
各種臟器並ニ組織ニ對スル組織球ノ親和性ニ就テ (渡邊雅男, 小西信雄共著) (本誌第 44 年第 10 號ニ發表セリ)
5. 初生兒「メレナ」ノ 1 剖檢例 (岡田一, 小西信雄共著) (本誌第 45 年第 5 號ニ發表セリ)

◎渡邊傳二君短信

(前略) 2月4日神戸港を出帆以來極めて平穩なる航海を續け只今印度洋を航行中に候、途中上海、基隆、香港、新嘉坡、彼南等を見物致し候

3月12日にはマルセーユ上陸一路 伯林に向ふ
豫定に御座候 (後略)

(2月22日附)